



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 ダイダイン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 1980 URL <http://www.daidan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 植林 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員業務本部長 (氏名) 河久保 弘和

TEL 06-6447-8003

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,772	3.1	△629	—	△507	—	△480	—
23年3月期第1四半期	21,114	△9.5	△796	—	△751	—	△684	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △412百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,004百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△10.76	—
23年3月期第1四半期	△15.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	91,252	—	40,488	—	44.3	—
23年3月期	96,306	—	41,259	—	42.8	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 40,421百万円 23年3月期 41,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,500	23.2	1,200	—	1,200	—	500	—	11.19
通期	119,000	8.9	3,500	183.0	3,500	160.5	1,700	200.7	38.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考) (1) 予想受注工事高「第2四半期(累計)」60,500百万円 (2) 予想受注工事高「通期」124,000百万円

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	45,963,803 株	23年3月期	45,963,803 株
24年3月期1Q	1,282,730 株	23年3月期	1,280,170 株
24年3月期1Q	44,682,270 株	23年3月期1Q	44,700,469 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,000	23.1	1,200	—	1,200	—	500	—	11 .19
通期	118,000	8.9	3,500	179.6	3,500	158.0	1,700	195.7	38 .04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)(1)予想受注工事高「第2四半期(累計)」60,000百万円(2)予想受注工事高「通期」123,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンの立て直しが進み、企業の生産活動は上向きの兆しがみられるものの、円高や、電力不足問題が長期化するなど国内生産への不安が広がってまいりました。

建設業界におきましては、復旧工事の需要が一部あるものの、民間設備投資の回復に力強さはなく、かつ公共投資も低調に推移している等、受注環境は依然として厳しいものとなりました。

このような状況のもと、中期経営計画「原点に戻り活力あるダイダグンを実現する」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、厳しい受注環境ながらも前年同四半期連結累計期間比84百万円増の25,834百万円となりました。

完成工事高は、受注工事高の増加等も影響し、前年同四半期連結累計期間比658百万円増の21,772百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高の増加等により前年同四半期連結累計期間比160百万円増の1,942百万円となりました。

営業損益は、完成工事総利益の増加を受け、前年同四半期連結累計期間比167百万円損失減の629百万円の営業損失となりました。

経常損益は、為替差損が、前年同四半期連結累計期間比82百万円減の1百万円となったこと及び営業損失の減少を受け、前年同四半期連結累計期間比243百万円損失減の507百万円の経常損失となりました。

四半期純損益は、投資有価証券評価損が、前年同四半期連結累計期間比207百万円減の136百万円となったこと及び経常損失の減少を受け、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期連結累計期間比203百万円損失減の480百万円の四半期純損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は71,528百万円となり前連結会計年度末に比べ4,983百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(7,637百万円)等が現金及び預金の増加(2,397百万円)等を上回ったことによるものです。固定資産は、19,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円減少いたしました。主な要因は無形固定資産の減少(59百万円)及び繰延税金資産の減少(120百万円)等が投資有価証券の増加(58百万円)及び前払年金費用の増加(169百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果総資産は、91,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,054百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は46,869百万円となり前連結会計年度末に比べ3,863百万円減少いたしました。主な原因は、支払手形・工事未払金の減少(4,978百万円)等が未成工事受入金の増加(907百万円)等を上回ったことによるものです。固定負債は3,894百万円となり前連結会計年度末に比べ420百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少(385百万円)等によるものです。

この結果、負債合計は、50,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,283百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は40,488百万円となり前連結会計年度末に比べ770百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上(480百万円)及び剰余金の配当(357百万円)によるものです。

この結果、自己資本比率は44.3%(前連結会計年度末は42.8%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,938	26,335
受取手形・完成工事未収入金	48,839	41,202
有価証券	100	100
未成工事支出金	387	763
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,092	1,352
その他	2,233	1,802
貸倒引当金	△80	△29
流動資産合計	76,512	71,528
固定資産		
有形固定資産	3,391	3,406
無形固定資産	763	703
投資その他の資産		
投資有価証券	7,033	7,092
繰延税金資産	1,350	1,229
前払年金費用	5,331	5,501
その他	2,978	2,780
貸倒引当金	△1,054	△991
投資その他の資産合計	15,639	15,613
固定資産合計	19,794	19,723
資産合計	96,306	91,252

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	36,344	31,365
短期借入金	6,645	6,399
未払法人税等	2	0
未成工事受入金	1,661	2,569
賞与引当金	—	651
役員賞与引当金	—	21
完成工事補償引当金	187	176
工事損失引当金	811	776
その他	5,079	4,908
流動負債合計	50,732	46,869
固定負債		
長期借入金	2,095	1,710
退職給付引当金	1,544	1,516
環境対策引当金	220	220
長期未払金	439	439
海外投資損失引当金	13	6
その他	0	0
固定負債合計	4,314	3,894
負債合計	55,047	50,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	32,428	31,590
自己株式	△626	△627
株主資本合計	41,091	40,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	152
為替換算調整勘定	28	17
その他の包括利益累計額合計	102	169
少数株主持分	65	67
純資産合計	41,259	40,488
負債純資産合計	96,306	91,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
完成工事高	21,114	21,772
完成工事原価	19,331	19,829
完成工事総利益	1,782	1,942
販売費及び一般管理費	2,579	2,572
営業損失(△)	△796	△629
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	78	87
受取保険料	85	82
その他	9	10
営業外収益合計	178	184
営業外費用		
支払利息	39	39
支払保証料	1	2
為替差損	83	1
その他	8	20
営業外費用合計	133	62
経常損失(△)	△751	△507
特別利益		
貸倒引当金戻入額	70	—
特別利益合計	70	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	344	136
特別損失合計	345	136
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,025	△644
法人税、住民税及び事業税	20	23
法人税等調整額	△358	△186
法人税等合計	△338	△163
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△686	△480
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	0
四半期純損失(△)	△684	△480

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△686	△480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△304	78
為替換算調整勘定	△12	△9
その他の包括利益合計	△317	68
四半期包括利益	△1,004	△412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,005	△413
少数株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）

（単位：百万円）

		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)		(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	%
受 注 工 事 高	電気工事	3,386	13.2	5,137	19.9	20,765	18.8
	空調工事	17,840	69.3	14,035	54.3	64,949	58.6
	水道衛生工事	4,524	17.5	6,662	25.8	25,036	22.6
	合計	25,750	100.0	25,834	100.0	110,751	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	12,175 1,310	47.3 5.1	15,443 2,746	59.8 10.6	55,395 2,301	50.0 2.1
完 成 工 事 高	電気工事	4,357	20.7	3,483	16.0	20,285	18.6
	空調工事	12,202	57.8	14,024	64.4	66,206	60.6
	水道衛生工事	4,555	21.5	4,264	19.6	22,733	20.8
	合計	21,114	100.0	21,772	100.0	109,224	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	8,883 799	42.1 3.8	9,957 877	45.7 4.0	50,294 5,809	46.1 5.3
繰 越 工 事 高	電気工事	8,651	9.9	11,755	13.3	10,101	11.9
	空調工事	61,953	70.6	55,069	62.1	55,059	65.1
	水道衛生工事	17,086	19.5	21,819	24.6	19,421	23.0
	合計	87,692	100.0	88,644	100.0	84,582	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	19,445 5,437	22.2 6.2	26,660 3,289	30.1 3.7	21,174 1,419	25.0 1.7